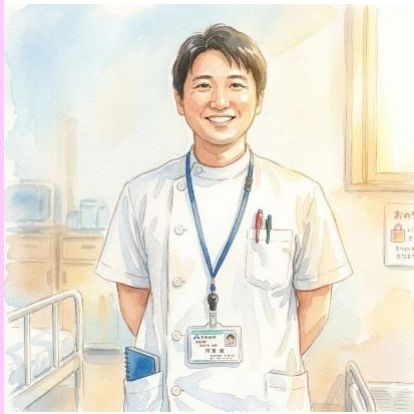




春のやわらかな陽ざしに、季節の移り変わりを感じる頃となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。当院では、これまでの療養病棟に加え、3月より新たに「障害者施設等一般病棟(重度の肢体不自由(脳卒中後遺症、認知症を除く)、重度の意識障害、脊髄損傷、パーキンソン病関連疾患などの神経難病の方を対象)」を開棟いたしました。これにより、これまで以上に幅広い患者さまの状態やニーズに寄り添い、より切れ目のない医療・看護の提供ができる体制となりました。新しい環境の中でも、患者さまお一人おひとりに安心して過ごしていただけるよう、スタッフ一同、これまで以上に丁寧であたたかい関わりを大切にまいります。



80年の歩み、これからも地域のそばに

病院長 芹澤 寛

芹沢病院は、私の祖父が幸原の地に診療所を開設してから、お陰様で80年を迎えようとしています。この間、医院から病院へと変革を遂げてまいりましたが、今日の姿があるのは、地域の皆様からのご理解とご支援があったこと、また同時に、当院を支えてくれた職員の努力があったことによるものであり、深く感謝するところであります。

12年前、父の病気療養に伴い、病院長の責務を果たすべく勤めて参りましたが、医者として、経営者として、組織の長として、身に余る経験をさせていただきました。現在では、静岡、神奈川、東京に渡って、広く医療を展開している新富士病院グループの一員として精進させていただいており、「自分の家族をまかせられる、自信のある病院」を目標に、地域の皆様に頼りにされるよう、日々努力の真っ最中であります。

各種報道にもありますように、物価高に加え、イランでの戦争突入によって日々の生活が脅かされるところまで世界情勢が迫ってきています。人生100年時代を迎えたこと、また、人口減少により生産年齢が減ったことにより、定年が引き上げられ、65歳でも現役で働くことが求められるようになりました。こんな時代に求められるのは、やはり健康であることだと考えます。働くため、家族を守るため、自分の趣味のため、最後に頼りになるのは、自分の身体以外にはありえないと思うのです。私事ではありますが、毎年フルマラソンを走ることを目標に自分の身体と対話することが日常です。

当院では、病気の治療はもちろんのこと、病気になる前の未病のアプローチとして、健康診断や人間ドックもおこなっています。年齢を重ねた方には、入院治療や、介護保険によるリハビリもさせていただいております。今後も職員一同、地域の皆様の健康増進に寄与できるよう、これからも努力を重ねて参りますので、ご指導ご支援の程、よろしくお願いいたします。なお、4月より、内科に小池医師、循環器に西銘(にしめ)医師が着任いたします。これに伴い、外来担当表が変更となります。今後とも、よりよい医療の提供に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。